

授業担当教員用

ICT を使った遠隔授業（同時双方向型）の録画配信における注意点

- オンライン授業（同時双方向型）で行う授業を録画する場合には、あらかじめその旨を受講生に説明し、了解を得ましょう。
- オンライン授業（同時双方向型）で行った授業の録画をアップロードする場合、学生の顔が映らないよう留意します。映る場合は、該当する学生全員の了解を得ましょう。
- 動画投稿サイトで動画を公開する場合は、著作権・肖像権の侵害や個人情報の流出のおそれがないか十分注意しましょう。
- 動画を公開する際に動画投稿サイト側の設定で、限定公開等の制限をかける工夫をしましょう。
- 動画のリンクは受講生のみ伝え、学生にはリンクの転送等を行わないよう指示します。
- 名古屋大学情報メディアスタジオの動画配信サービスが利用できます。このサービスでは、アップロードされた動画ファイルをストリーミング配信し、視聴者は動画ファイルをダウンロードすることはできません。また、公開範囲を動画ファイルごとに設定することができます（NUCT との連携による受講者限定配信、学内限定配信、一般公開など）。
- 録画をすることで、学生の自由な発言ができなくなる場合がありますので注意しましょう。

- 同様の留意事項は、以下の教養教育院 Web ページにも掲載しています。

教養教育院 HP → オンライン授業に初めて関わる教員のための教授法（ティップス） → ライブ授業の録画配信における注意点 [リンク](#)